

## 2.糸満市の概要

## 2. 糸満市の概要

### 2-1. 位置・道路網

糸満市は、沖縄本島の最南端にあり、那覇市から南へ約 12 km に位置している。北側に豊見城市、東側に八重瀬町がそれぞれ隣接し、西から南にかけて東シナ海に面している。

主要な幹線道路としては、国道 331 号があり、その他、主要地方道や県道がネットワークされている。また、糸満市真栄里から糸満市山城の区間において、県道「平和の道（仮称）」の整備事業が進められており、これにより、糸満市南部海岸域に点在する戦跡や史跡等をはじめ、糸満漁港や喜屋武漁港、さらに喜屋武地区に整備されている沖縄県水産海洋技術センター等が、道路で有機的に結びつけられることになる。

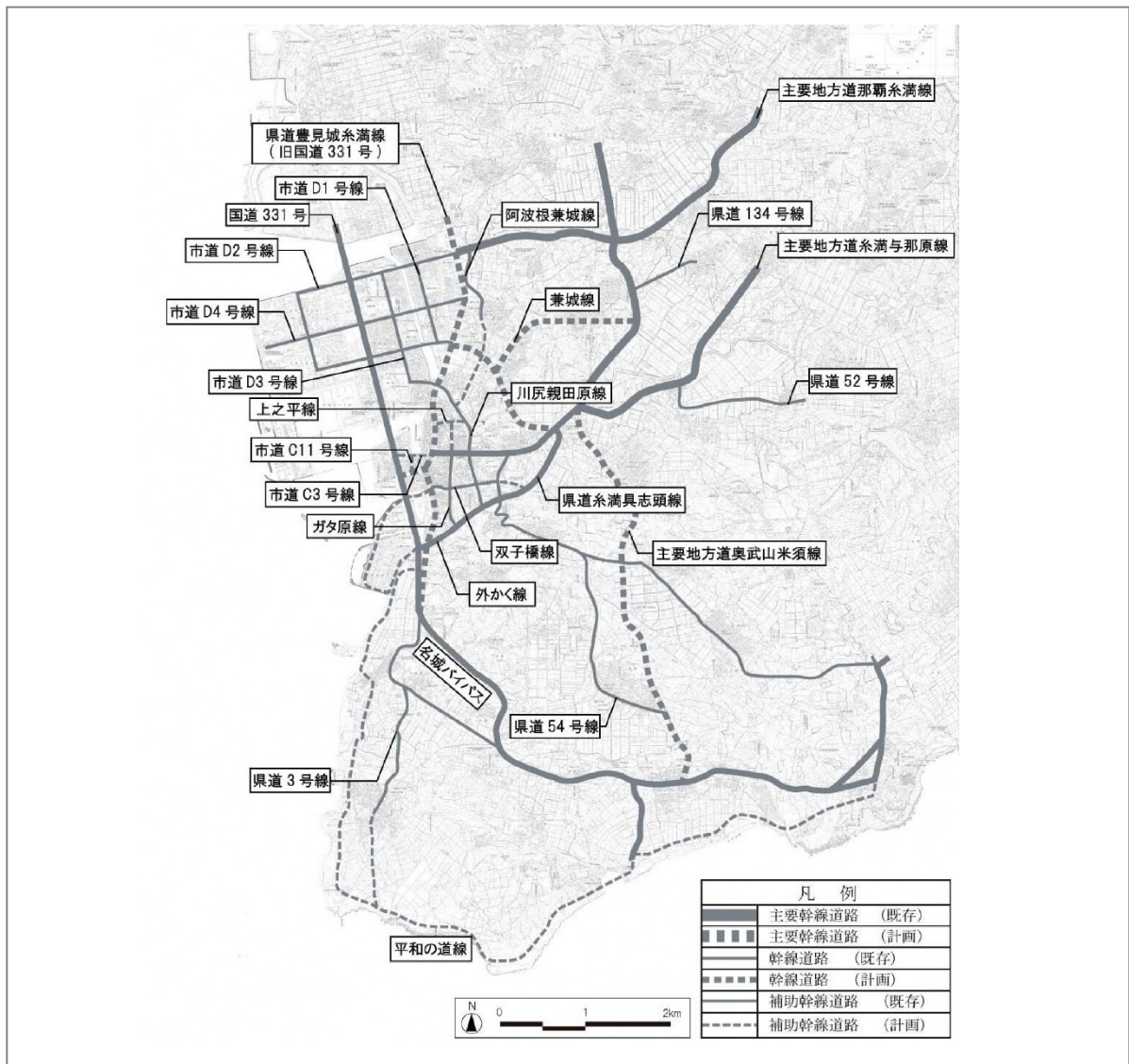


図 2-1 糸満市の道路網<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 資料：糸満市「糸満市都市マスタープラン（平成 30 年度）」P53

## 2-2. 自然環境

### (1) イノー（礁池）と沿岸環境<sup>2</sup>

サンゴ礁に囲まれたイノー（礁池）等は、そこを住処や餌場として利用する生物が多くみられ、サンゴ礁域は水産資源や観光資源としても価値が高い場所である。糸満地区および喜屋武岬地区においては、サンゴの被度は高くないが、ほぼ全域にサンゴ礁が分布している。

糸満地区では、摩文仁の丘南からサザンリンクスにかけて、沖縄島南部で最大・最長の石灰岩の海崖があり、崖下には離水ノッチが形成されている。報得川河口部には、ポットホール状地形と呼ばれる、泥質堆積物に見られる円形凹地がある。

また、喜屋武岬地区では、具志川城跡から荒崎にかけての海岸部は、海拔 20～35mの石灰岩からなる海崖であり、その一部に具志川城跡が立地しており、崖下部にはノッチが形成されている。荒崎の西側の崖下には、通常のベンチ（波食棚）より高いサーフベンチが形成されている。荒崎から魂魄之塔・米須にかけての海岸部には、沖縄島中南部を代表する海岸砂丘があり、米須砂丘と呼ばれている。喜屋武岬には、約 6000 年前の完新世サンゴ礁が分布する。

表 2-1 自然環境の分布区域

地区名	藻場 <sup>3</sup> ・干潟 <sup>4</sup> ・サンゴ礁 <sup>5</sup>
糸満	・ エージナ島北に藻場（約 6ha）が分布 ・ サンゴの被度は 5%未満
喜屋武岬	・ サンゴの被度はイノー（礁池）では概ね 5%未満、礁斜面では概ね 5～50%、一部 50%以上、5%未満の所がある

<sup>2</sup> 資料：沖縄県「自然環境の保全に関する指針（平成 10 年度）」

<sup>3</sup> 海中に海草や海藻類が繁茂している場所

<sup>4</sup> 土砂でできた土地が潮の満ち引きにより、水に沈んだり水が引いたりしている場所

<sup>5</sup> 造礁サンゴの群落によってつくられた地形

## 2-3. 社会環境

### (1) 人口

糸満市の人口は、令和2(2020)年度の国勢調査において、6万1,007人であり、沖縄県と同様に増加傾向にある。人口の伸び率をみると、沖縄県全体や那覇市と比べても、高くなっている。

表 2-2 糸満市の人口推移<sup>6</sup>

(人)

年度	糸満市	那覇市	沖縄県
H22年	57,320	315,954	1,392,818
H27年	58,547	319,435	1,433,566
R 2年	61,007	317,625	1,467,480

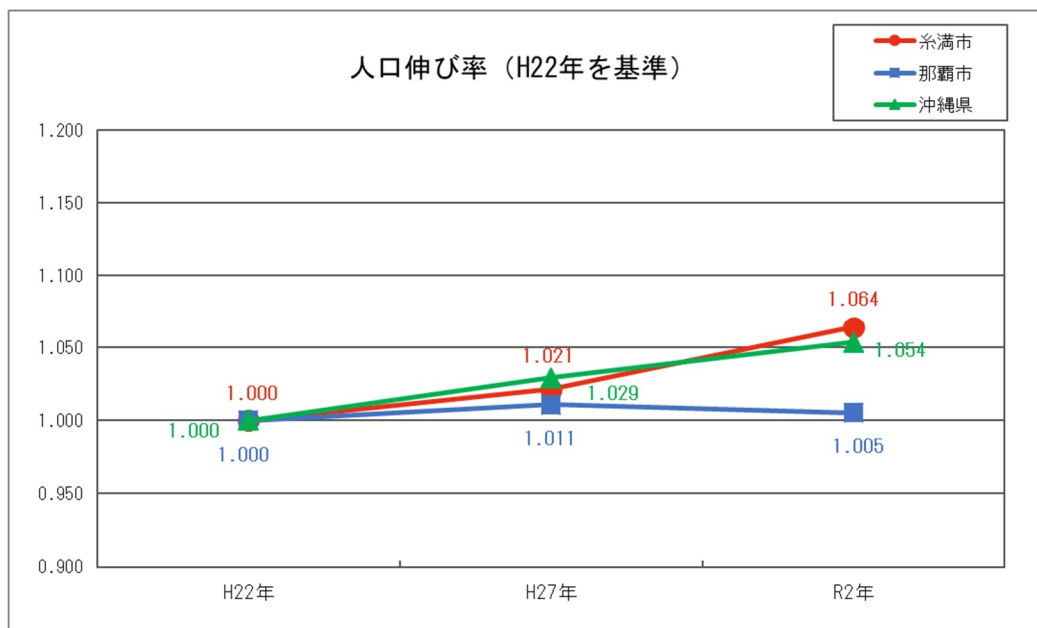


図 2-2 糸満市の人口伸び率(参考：沖縄県、那覇市)<sup>6</sup>

<sup>6</sup> 資料：「国勢調査結果(平成22年～令和2年)」(総務省統計局)

## (2) 産業別就業人口

第1次産業全体としては減少傾向にあるが、漁業の就業者数や構成比は、ほぼ横ばいである。また、第3次産業のサービス業については、平成27（2015）年、令和2（2020）年とも増加している。令和2（2020）年の産業別就業人口の全体数は、平成22（2010）年より約6千人増加している。

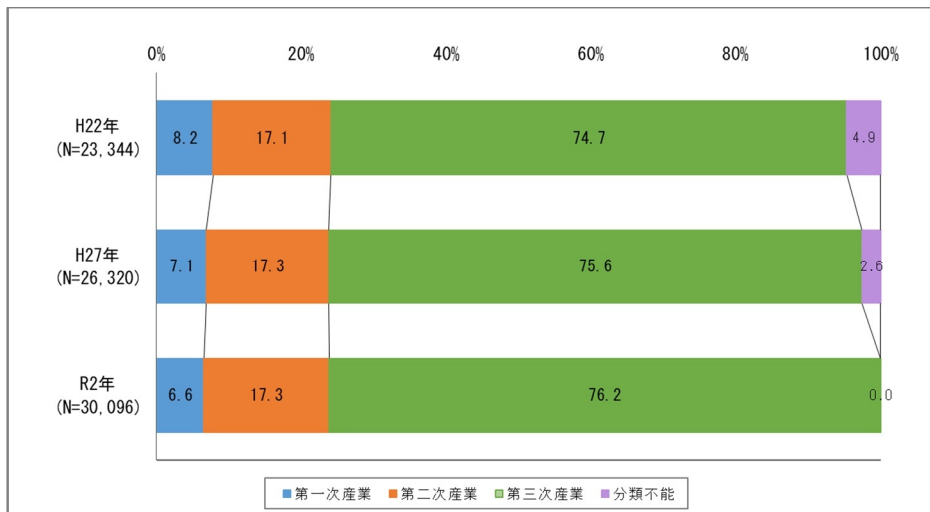


図 2-3 系満市の産業別就業人口割合の推移<sup>7</sup>

表 2-3 系満市産業別就業人口の推移<sup>7</sup>

	H22年		H27年		R2年	
	就業者	構成比(%)	就業者	構成比(%)	就業者	構成比(%)
<b>第一次産業</b>	1,905	8.2	1,822	7.1	1,973	6.6
農業	1,769	7.6	1,679	6.5	1,833	6.1
林業	0	0.0	1	0.0	1	0.0
漁業	136	0.6	142	0.6	139	0.5
<b>第二次産業</b>	3,958	17.1	4,448	17.3	5,203	17.3
鉱業、採石業、砂利採取業	21	0.1	27	0.1	26	0.1
建設業	2,308	10.0	2,564	10.0	2,982	9.9
製造業	1,629	7.0	1,857	7.2	2,195	7.3
<b>第三次産業</b>	17,305	74.7	19,385	75.6	22,920	76.2
電気・ガス・熱供給・水道業	81	0.3	76	0.3	107	0.4
情報通信業	425	1.8	514	2.0	575	1.9
運輸業、郵便業	1,781	7.7	1,893	7.4	2,265	7.5
卸売業、小売業	3,635	15.7	3,725	14.5	4,352	14.5
金融業、保険業	337	1.5	381	1.5	406	1.3
不動産業、物品賃貸業	381	1.6	515	2.0	656	2.2
学術研究、専門・技術サービス業	507	2.2	602	2.3	747	2.5
宿泊業、飲食サービス業	1,408	6.1	1,583	6.2	1,779	5.9
生活関連サービス業、娯楽業	936	4.0	1,026	4.0	1,136	3.8
教育、学習支援業	851	3.7	909	3.5	1,292	4.3
医療、福祉	3,304	14.3	4,061	15.8	4,790	15.9
複合サービス事業	194	0.8	281	1.1	271	0.9
サービス業(他に分類されないもの)	1,565	6.8	1,792	7.0	2,265	7.5
公務(他に分類されるものを除く)	1,900	8.2	2,027	7.9	2,279	7.6
分類不能	1,125	4.9	665	2.6	—	—
総数	24,293	100.0	26,320	100.0	30,096	100.0

<sup>7</sup> 資料：「国勢調査結果(平成22年～令和2年)」(総務省統計局)より作成

### (3) 糸満工業団地

糸満工業団地は、那覇空港までの距離が約 8 km の位置にあり、平成 23 (2011) 年において約 200 社の企業が立地している。その中に、水産食品関連用地は 45ha で約 90 社が立地しており、運輸や包装等の企業も集約している。

現在、糸満市は、国道 331 号豊見城道路・糸満道路が開通し、那覇空港や那覇港へのアクセス性が格段に向上したことなどにより、企業からのニーズが高まっているが、糸満工業団地の用地はすでに完売しており、現在の企業ニーズに対応できていない状況である。そのため、企業ニーズを踏まえた用地確保、企業誘致に向けて、真栄里地区では、新たな糸満市土地利用基本構想等が計画されている。

表 2-4 糸満工業団地の概要<sup>8</sup>

概要	
事業主体	糸満市、糸満市土地開発公社
地勢	しゅんせつ海砂による埋立地
全体面積	154ha
分譲総面積	81ha(うち水産食品関連用地：45ha)



図 2-4 糸満市物流団地等造成事業イメージ (真栄里地区)<sup>9</sup>



<sup>8</sup> 資料：糸満市ホームページ

<sup>9</sup> 資料：糸満市ホームページ「糸満市物流団地等造成事業」パンフレット

#### (4) 汚水処理状況

糸満市の汚水処理人口普及率は、令和2(2020)年度末時点で96.0%と、沖縄県の平均値(86.7%)と比べ高い整備率となっている。

糸満市においては、市街化区域およびその周辺集落については、公共下水道の整備を推進し、整備率の向上を図ることとされている。公共下水道の整備区域以外の農村地域については、経済性を考慮し、米須地区では農業集落排水事業の導入、その他の小集落については合併浄化槽の設置の促進、さらに、下水道処理水に関して、再生水等循環型実証事業による検討を行っていくこととなっている。

表 2-5 市町村別普及状況（令和2年度末）<sup>10</sup>

市町村名	汚水
那覇市	98.6%
宜野湾市	95.8%
石垣市	60.9%
浦添市	97.8%
名護市	78.6%
糸満市	96.0%
沖縄市	97.5%
豊見城市	82.9%
うるま市	81.7%
宮古島市	47.6%
南城市	86.1%
国頭村	23.4%
大宜味村	51.1%
東村	26.2%
今帰仁村	33.2%
本部町	75.9%
恩納村	78.1%
宜野座村	100.0%
金武町	100.0%
伊江村	86.1%
読谷村	67.5%
嘉手納町	100.0%
北谷町	99.6%
北中城村	71.0%
中城村	90.3%
西原町	74.8%
与那原町	83.2%
南風原町	83.4%
渡嘉敷村	61.3%
座間味村	100.0%
粟国村	100.0%
渡名喜村	100.0%
南大東村	62.6%
北大東村	52.2%
伊平屋村	100.0%
伊是名村	100.0%
久米島町	68.6%
八重瀬町	60.2%
多良間村	29.6%
竹富町	52.1%
与那国町	98.0%
沖縄県	86.7%
全国	92.1%

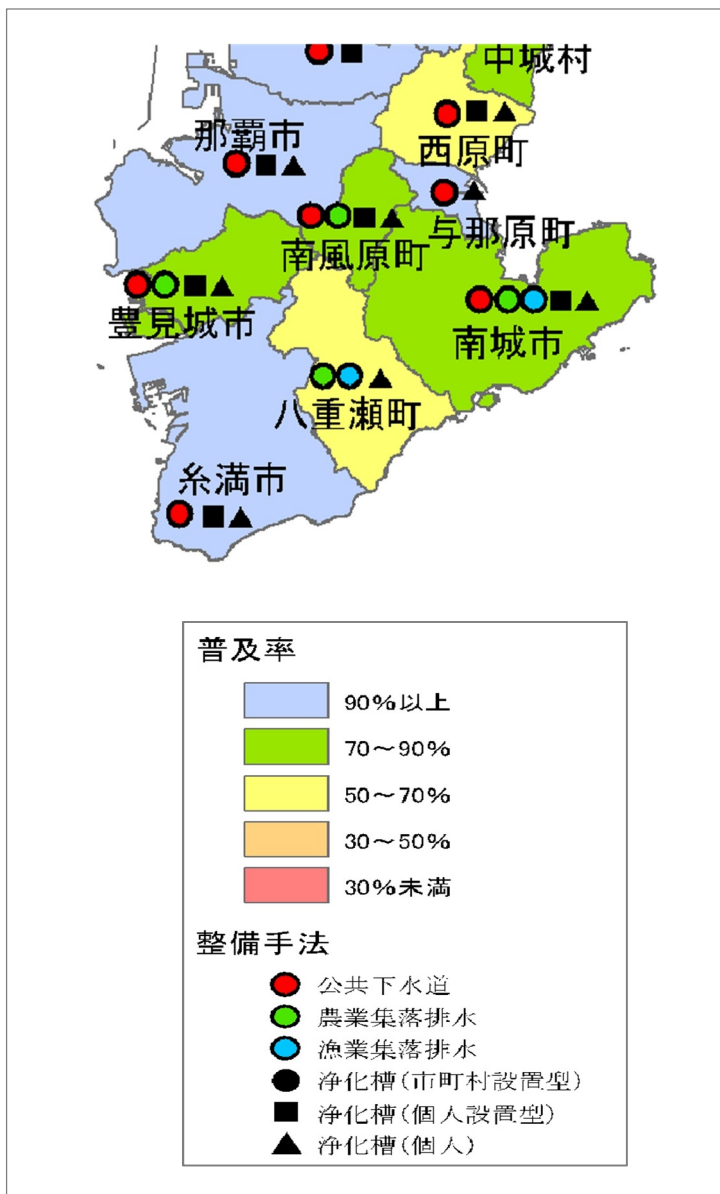


図 2-5 市町村別普及状況（令和2年度末）<sup>11</sup>

<sup>10</sup> 資料：沖縄県土木建築部「沖縄汚水再生ちゅら水プラン 2023」P7より作成

<sup>11</sup> 資料：沖縄県土木建築部「沖縄汚水再生ちゅら水プラン 2023」P8

(5) 水質

海域の水質基準となる COD 値は類型 A (水産 1 級・水浴・視線環境保全および B 以下の欄にあげ  
るもの) 2.0mg/L 以下とされており、糸満海域の計測地点 3 箇所について、平成 23 (2011) 年から  
令和 2 (2020) 年までの 10 年間基準をクリアしている。

表 2-6 糸満海域の水質 (COD 値) の推移<sup>12</sup>

環境基準 類型指定 水域名	類型	基準値	環境基準点	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
				糸満海域	A	2	糸満漁港	1.1	1.6	1.8	1.9	1.9	1.9
糸満漁港沖	1.1	1.7	1.8				1.8	1.8	1.8	1.9	1.4	1.1	1.4
岡波岩東	1.2	1.7	1.9				1.9	1.9	1.9	1.7	1.5	1.1	1.4

河川の水質基準(BOD 値)について、報得川は類型が E (工業用水 3 級・環境保全) 指定となってお  
り 10mg/L 以下とされている。平成 23 (2011) 年から令和 2 (2020) 年まで各年度基準はクリアし  
ている。

表 2-7 報得川の水質 (BOD 値) の推移<sup>13</sup>

環境基準 類型指定 水域名	類型	基準値	環境基準点	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
				報得川	E	10	水位設置点	3.7	6.0	4.9	4.5	4.3	4.4



<sup>12</sup> 資料：沖縄県「令和 2 年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果について」P21 より作成

<sup>13</sup> 資料：沖縄県「令和 2 年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果について」P17 より作成

## (6) 観光

糸満市は、美々ビーチいとまんや糸満市観光農園、琉球ガラス村等多数の観光施設を有し、さらに糸満市内外から広く認識されている JA ファーマーズマーケット糸満やお魚センターなどの商業施設が整備されている。沖縄戦の戦跡であるガマをはじめ、ひめゆりの塔、平和祈念公園、平和の礎など平和学習の地として県内外から多くの人が訪れる。

観光施設入込客数も、新型コロナウイルスの影響により令和元年をピークに減少しているが、そのような状況下においても、北名城地区では大規模なリゾート宿泊施設が開業(2022年7月)している。

表 2-8 主要観光施設入込客数・宿泊者数<sup>14</sup>

施設名称	(人)									
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
①美々ビーチいとまん	454,403	455,215	396,696	370,335	352,674	413,853	186,182	297,732	186,182	161,034
②沖縄平和祈念堂	74,584	78,323	75,108	72,196	65,714	69,303	61,025	61,149	7,603	10,473
③沖縄県平和祈念資料館	474,917	487,808	464,986	493,684	475,062	444,979	432,552	435,619	77,176	79,717
④ひめゆり平和祈念資料館	662,956	660,374	629,440	627,813	579,865	555,546	530,087	491,345	66,532	93,936
⑤糸満市観光農園	-	109,005	115,867	7,328	73,381	65,061	62,044	64,454	32,982	45,878
⑥サザンビーチホテル&リゾート	297,617	283,925	269,500	280,524	273,611	287,346	296,608	235,913	74,070	112,872
⑦スポーツロッジ糸満	-	-	-	-	12,955	13,280	12,611	7,999	2,291	0
⑧糸満市物産センター遊食楽	-	380,000	300,000	200,000	220,000	250,000	250,000	180,000	140,000	70,000
⑨琉球ガラス村	367,589	358,373	356,315	343,832	359,834	356,057	334,616	-	50,950	49,642

表 2-9 道の駅いとまん敷地内施設入込客数<sup>14</sup>

施設名称	(人)									
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
①糸満市物産センター	380,000	300,000	200,000	220,000	250,000	250,000	180,000	140,000	70,000	
②ファーマーズマーケットいとまん	1,720,000	1,720,000	1,700,000	1,640,000	1,620,000	1,620,000	1,560,000	1,430,000	1,460,000	
③お魚センター	1,000,000	760,000	840,000	900,000	960,000	960,000	1,420,000	770,000	900,000	
④イノー焼肉ばんない	20,000	30,000	30,000	30,000	50,000	50,000	50,000	0	0	
合計	3,120,000	2,810,000	2,770,000	2,790,000	2,880,000	2,880,000	3,210,000	2,340,000	2,430,000	

<sup>14</sup> 資料：糸満市観光・スポーツ振興課提供資料より作成

## (7) 伝統文化・イベント

糸満市を代表する伝統行事「糸満ハーレー」は、毎年旧暦の5月4日(ユッカヌヒー)に行われる伝統行事で、全国的にもよく知られている。なお、沖縄の伝統的な民俗信仰のあり方をよく伝え、船漕ぎ行事の典型的な例として、平成24(2012)年に糸満市指定無形民俗文化財となっている。ここ数年は、新型コロナウイルスの影響により中止されていたが、令和5(2023)年度より、4年ぶりに開催されている。



写真 2-1 糸満ハーレーの様子<sup>15</sup>



写真 2-2 名城ハーリーの様子<sup>15</sup>



写真 2-3 喜屋武ハーリーの様子<sup>15</sup>

<sup>15</sup> 資料：糸満市ホームページ「いとまん観光ナビ」より作成